

G1安田記念 KT師の本命と見解

父ノーザンダンサー系。

なかでもスプリント適性、当然日本の馬場適性に優れた血も持つ馬に相性の良いレース。

過去5年中4年でノーザンダンサー系が人気以上に走って連対。

モズアスコットが優勝。ロゴタイプ、アエロリットが複数回連対。

昨年は1-3人気は1-3着でしたが、7人気の人気薄ながら3着とはクビ差4着のノームコアはノーザンダンサー系でした。

本命はサリオス。

父はサンデー系のハーツクライ。

ですが、同馬は母がノーザンダンサーの塊。

デインヒルの要素が強い馬。体重も父よりも30キロ近く大型。

これは2歳の頃から常に指摘し続けていること。

皐月賞もハーツクライ産駒は苦手なレースですが、同馬はデインヒルの要素が強いため、あえて本命に。

堀厩舎の管理馬は過去10年で3頭優勝。

モーリス、ストロングリターン、リアルインパクト同様の大型馬。

マイルCSは大外枠、出遅れ、堀厩舎の苦手な関西遠征と悪材料が揃った中、グランアレグリア、インディチャンプと僅差の競馬。

ダービー、大阪杯も向かない条件。底を見せていない魅力も。

雨馬場になっても相対的には有利。